

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	合資会社ケアスタッフサービス 就労就学支援型みかん		
○保護者評価実施期間	2024年12月10日		～ 2024年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2024年11月25日		～ 2024年12月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に寄り添った支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者様からの情報や様々な情報を基に、多角的な角度で行動や個人の分析を行い、先読み支援へとつなげている。</li> <li>個々の目標設定の達成が難しい場合には、都度に振り返りと情報共有をしながら、自己肯定感が培われる支援方法について日々話し合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修への機会を増やしていき、知識と技術の向上を行うことで子どもへの理解をより深めていく。</li> <li>自己肯定感向上の為、本人の自己選択・自己実現がより叶う意思決定のスキルの方法を社会体験を通して得られるように機会を充実させていく。</li> </ul>
2	就労支援として、進路を見据えた課題の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業所で取り組んでいる内容を参考にした作業学習を取り入れ、実際の作業を想定した課題を行っている。</li> <li>社会性スキルアップの為に人との関わりについての学習やマナー学習などを日常状況的な動作の中で常に学べる環境作りを意識している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業学習内で使われる日常的な指示言葉の意味理解や困りごとの発信について、様々なシチュエーションを想定した場面設定を行い、対応力の向上を目指していく。</li> </ul>
3	安心して過ごせる関係性の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>特性別に合わせたプログラムを設定し、分けて活動する事で成功体験・褒められる体験を増やし、自己肯定感を高められるように合理的配慮をしている。</li> <li>先読み支援を活かし、行動の理由の汲み取り・寄り添い、本人が無理なく過ごせる環境を提供することで、子どもたち自身で【安心できる(理解してくれる)大人・環境】を体得できるように取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年があがるにつれて、学部や特性にあわせた配慮が今まで以上に必要だと推測できるため、個々の満足感・充実感をあげられるように少人数制のグループ活動を充実させていく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や親子交流の機会の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年が小中高生と混在しており、親子交流会として一環したものの提供が難しい。</li> <li>就労等様々な理由で負担に感じる保護者様もいるのではないかの懸念がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>悩みや子育て環境を共有できるつながりの場として提供していけるように、特性や学部毎に分けた活動プログラムの中で、自由参加で参観できる日を設定できるように検討していく。</li> </ul>
2	ペアレントトレーニングや研修の案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>各家庭への個別に支援グッズの提供などは行ってきたが、ペアレントトレーニングや研修としては情報収集ができておらず、発信・案内できる内容が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高等部が在籍しており、保護者様が成人後の悩みとして考えられる【成年後見人制度】については、社内の社労士の協力を得ながら案内ができるように努める。</li> <li>研修やペアトレに関しては、情報収集を行い案内ができるように努める。</li> </ul>
3	地域事業所や近隣住民、地域の子も達との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 同様に学年が混在している事や、特性により交流は難しいと考えられる。</li> <li>地域へのイベントには、タイミングが合えば参加してきたがそこから交流にはつながるのは難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンション1階に所在していることから、日頃から周辺の奉仕(清掃)活動を行ったり、年末には子ども達も一緒に取り組むことで事業所として近隣住民への日頃の感謝の代替としているので今後も継続していく。</li> <li>今後も地域へのイベントに参加を続けながら交流の機会が共生社会へつながるように機会の検討をしていく。</li> </ul>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		就労就学支援型みかん		公表日		2025年2月27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	活動内容によりスペースを分けている。クールダウンできるスペースを確保している。	今後子どもたちの成長と共に個別スペースの拡大が必要になってくるかと思われる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	特性や人数に応じた配置を行っている。	余剰員の確保ができれば個別対応が必要な利用者に対して、より手厚い支援が可能だと思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	視覚情報（絵カード）を可能な範囲に表示や見通し札を活用している。	バリアフリー化は必要に応じて改善の余地はある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	クールダウンスペース（個室）を設けてSSを意識している。	個室の活用やパーテーションで区切って工夫しているが、活用できる人数には制限があるため区画を増やせるようスペースの活用方法について検討していく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	クールダウンや学習の為に使用できるようにしている。また、不必要な物を撤去した環境にしている。	成長と共にスペースの拡大が必要かと思われる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	来所前にミーティングの時間を設けたり、日報等で共有したり、情報共有を行いながら周知している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	改善や対策について、会議内で情報共有している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	日常のコミュニケーションの際や店舗内会議で気づいた点など共有し、解決に向けて話合っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	他店舗合同会議での話し合う機会はある。	社内だけでなく、外部関係機関の客観的評価も必要であると思う。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	社外研修への積極的な参加に努めている。受講後には店舗内への周知も行っている。	研修の日程や時間によっては、全員参加が難しいので、可能な限りオンラインでの受講も取り入れていく。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	利用者に寄り添った内容で作成している。	保護者アンケートからの回答も基に検討しましたが現状ありません。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	家族支援を含め、ニーズや将来を見据えた課題設定で計画を立てている。	保護者アンケートからの回答も基に検討しましたが現状ありません。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	店舗内会議で話合ったり、支援の中で共通理解ができるように気づきを共有している。	保護者アンケートからの回答も基に検討しましたが現状ありません。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	個別課題設定に対する支援方法、目標の共有を行っている。	保護者アンケートからの回答も基に検討しましたが現状ありません。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	個別ファイルにて標準化ツールを準備し共有している。変更があった場合には都度日報に記載し情報共有している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	細分化した目標設定と具体的な支援内容（方法）、個人に必要なスモールステップ支援を設定している。	保護者アンケートからの回答も基に検討しましたが現状ありません。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	複数人担当でプログラムを立案し、改善や工夫について会議内で意見を出し合いながら行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	繰り返しが必要な内容以外は学ぶ内容を変更している。通信カレンダー作成時には、各曜日に満遍なくプログラム設定している。	卒業児に合わせて中途年齢の利用者様の入所がある、異年齢であっても満足感が得られるものを充実させていく。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	学年差や特性に応じて個で対応する事と集団活動で同じ活動内で合っても、ねらいによって内容に変化をつけている。	保護者アンケートからの回答も基に検討しましたが現状ありません。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	前日も含めた保護者からのメッセージの共有、プログラム内の個人のねらいについて申し送りを行い連携している。	開所後に状況・状態が変化する場合があり、そういった場合への細かな変化も想定した、より連携の取れる方法・手段を話し合い取り入れていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	社員間での振り返り、打ち合わせは当日中に行い、その他のスタッフへは出勤時に確認できるように申し送り、日報記載している。	職員個々の勤務体制事情によりその日の内に全職員への共有は難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	個別の支援ファイルに記入し、支援に活用している。また、使用したテキストなど残し支援の方向性について検証している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	半年ごとに行い、見直しやご家族支援が必要な場合には適切に対応・対策など都度提供している。	保護者アンケートからの回答も基に検討しましたが現状ありません。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	0	余暇活動以外は基本支援内容に取り入れている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	毎日のおやつ時間で身近に取り入れたり、高学年では子ども会議を設定し自分で考え意見を発信する場を設けている。	特性により意思表示・決定できる場が限られてくる場合には、どのようにして発信するか引き出すことができるか検討していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	必要に応じて児発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	必要に応じて対応している。主治意見書が必要な場合にも機関ごとに連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	迎えの引き渡し時に申し送りを行い適切に行っている。下校時刻については、学校通信の確認や保護者と連携し適切に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	見学終了後契約決定段階で支援計画やサポートブック等受け取り共有したり情報提供依頼している。	事業所間でのやりとりはあったが、こども園や保育園等では保護者様からの情報提供だったので情報提供依頼をしていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	7	昨年度は卒業生がいない状況であったが、必要に応じて対応したり、相談支援を通じて情報を提供してもらっている。	卒業後も適切な支援が受けられるように、情報提供行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3	研修に関する情報収集と参加に努め店舗内で周知している。	今後年齢があがるにつれてスーパーバイザーの助言が必要かと思われるので、スムーズに依頼できるように情報収集・周知に取り組む
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	8	現状、状況を考慮・鑑みて機会を設けていない。	特性上難しい側面もあるが、環境が整う状況であれば、今後検討も視野に取り組む。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	6	尼崎ネットワーク協議会には参加している。	情報が把握しきれていない現状があるので、情報収集に努める。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	連絡帳や送迎時に一日の様子や気づいたことなどお話し、また家庭での様子もおはなしたくこともある。	保護者アンケートからの回答も基に検討しましたが現状ありません。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	家族支援の一環としてアドバイスや必要なプログラム、カードなどを提供し使い方を提供している。また、他機関から研修・講座案内があった場合には案内している。	研修という形では、他機関・他社に依存している形になるが様々な状況を鑑み自店での開催は難しい。今後も各家庭に対して寄り添った助言を行っていく。
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時や必要に応じて都度説明している。	保護者アンケートからの回答も基に検討しましたが現状ありません。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	モニタリング時以外にもモニタリング時以外にも家庭での様子を聞き取りする機会がある。	保護者アンケートからの回答も基に検討しましたが現状ありません。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	半年ごとの面談時に今後の支援内容について説明後作成し、署名をいただいている。	保護者アンケートからの回答も基に検討しましたが現状ありません。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	送迎時やLINE等で相談があれば速やかに対応・助言している。	保護者様からの発信だけでなく、日常での会話から困りごとへの気づきへの対応力を向上していく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	8	保護者会は数年前より開催していない。兄弟で同じ曜日の受け入れ対応している。	特性や状況を鑑みて慎重に検討が必要である。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情体制については、契約時に説明させていただき、店舗内にも窓口連絡を掲示している。	保護者アンケートからの回答も基に検討しましたが現状ありません。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	毎月みかん通信を発行し、翌月の活動予定や活動の様子を掲載している。また月に2回HPのブログで活動の内容を掲載している。	HPへの掲載について、周知できていない部分があったので、今後定期的に通信を通して発信していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	鍵付きの冊に保管している。また、写真送信については同意書を得た上で行き、同意がない方については職員間で共有し誤送信がないようチェックしている。	保護者アンケートからの回答も基に検討しましたが現状ありません。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	連絡帳に日々の様子とともに写真を送信している。また、送迎時にもお伝えしています。	保護者アンケートからの回答も基に検討しましたが現状ありません。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	特性を鑑みて事業所への招待は難しいですが、地域へのイベントには参加しています。	今後も開催は難しいかもしれないが、イベントへの参加は積極的に行っていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	保護者様へは契約時に説明し、職員にも周知の徹底を行っている。	マニュアルは契約時に説明配布しているが、今後再確認を含めて定期的な配布を検討していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	定期的に避難訓練を行っている。安全なルートであるか災害が起こった時の周囲の環境を鑑みた個別対応が必要な方への対策の周知や、職員間で図上訓練もおこなっている。	身体の成長もあり、個別対応児の誘導方法について検討していく必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	てんかん発作、服薬に関しては、契約時に確認し周知している。	予防接種に関しては、確認ができていない状況だったので今後確認していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	アレルギー除去のおやつは全職員の目につくところに貼って提供時に確認している。また、昼食携帯元にも周知を行い、安全管理をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	毎月の確認と合わせて、日頃から危険が伴っていないか危機管理意識を持った支援をしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	社内統一マニュアル等の共有をしている。	安全確保への周知に関して、分かりやすい方法を検討し発信していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットが起こった際、または起こり得たかもしれない状況であったことも報告・対策について情報共有をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	入職年度には兵庫県主催の虐待防止研修に参加する機会を設定している。社内・店舗内でも事例や支援の振り返り等を通して適切な対応を共有している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	該当者には、十分な説明を行い承諾を得て、支援計画にも記載している。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		就労就学支援型みかん						公表日 2025年2月 27日	
		利用児童数				21名	回収数		18名
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1	0	1	記載なし		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1	0	2	記載なし		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	0	0	1	記載なし		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1	0	1	記載なし		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	0	0	0	子どもに合わせた支援をしてくださっています	今後も継続していきます	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	0	いつも楽しそうに参加しています。	今後も子どもたちが楽しみながら参加できるプログラムを提供していきます。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	0	0	0	子どもの事をよく理解してくださってとてもありがたいです。	今後も子どもの観察・分析を重ねながら理解を深めていけるように努めます。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	0	記載なし		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0	記載なし		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	0	0	1	たくさんの事を体験させてくださっていると嬉しいです。	今後も様々な経験を通して、子どもたちの【楽しい】や【できた！】を重ねていけるプログラムを提供していきます。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	2	4	11	図書館も入るのであれば「はい」です。	図書館は含まれないと思われませんが、イベントへの参加を通して地域の方との交流がありました。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0	記載なし		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0	記載なし		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	0	6	5	個別相談の際に提案頂いたが都合上参加できなかった。	別の機会にも参加して頂けるように提案していきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18	0	0	0	記載なし		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	0	0	0	記載なし		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0	記載なし		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	0	1	7	10	記載なし		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	0	0	0	記載なし			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	0	記載なし	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	2	1	0	記載なし	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	0	記載なし	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	0	0	1	記載なし	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	0	0	1	記載なし	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	1	記載なし	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	0	0	0	記載なし	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0	日々そう思います。困らせているかもしれませんが安心感を持って預けられています。	今後も利用者様・保護者様との信頼関係を大事に築いていきたいと思っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	0	0	1	優しい先生方が大好きです。	ありがたいお言葉に嬉しく思います。今後も信頼関係を大事にしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1	0	0	長期休みもう少し早い時間からだとありがたい。いつも丁寧な支援や心遣いに感謝しています。	現状10時の開所時間の変更は難しいところである。今後も満足して頂けるように支援して行きます。